

## 2020年度オンライン国際学部ウィークの記録

2020年10月26日から30日の5日間にわたり実施されたオンライン国際学部ウィークの記録として、質疑応答の一部を掲載しました。1日ごとにテーマを設定して行いましたが、テーマに直接関係しない質疑応答もあります。また、質問や応答をいくつかまとめて記載したものもあります。なお、個人的な体験などについての回答は掲載していません。カリキュラムや履修に関する規程等は改定される場合があります。授業については、年度によって開講されないこともありますので、予めご了承ください。

### 1日目「国際学部の教育と研究全般」

1	SDGsに関連する授業が多いという話がありましたが、環境問題に関する具体的な授業内容や活動を教えていただきたいです。	環境問題に関することでしたら、特に本学部高橋教員が担当している科目が該当します。また、オンラインで環境問題に関する映画を上映する企画を行ってあります。SDGsの中でテーマを決めて調べた内容を発表したり、講師の方をお招きする授業があります。(5日目の記録もご覧ください)
2	国際学部のパンフレットやオープンキャンパス、そして本日の説明にもありましたが、貴学では「多様性」のあり方についてどのようにお考えでしょうか。	教育研究分野の多様性、学際性の他に、学生の出身地や国籍、背景の多様性、教員の性別、出身国、研究分野の多様性など、さまざまな観点から多様性を考えることができ、その多様性が組織や社会の豊かさや強みにつながると考えています。
3	多様であることで、ポジティブな面やマイナスな面とありますが、その点においてどのような課題が取り上げられるでしょうか	多様であることは豊かさの半面、違いを浮き立たせ、社会に複雑な状況を作り出します。偏見や差別、集団間の軋轢、マイノリティ集団に対する排斥など、多くの問題の背景になっていると考えられます。このような問題への対応も、国際学部の教育研究の重要なテーマです。
4	貴校では改めて多文化共生についてどうお考えでしょうか？	国際学部では、統一見解を打ち出すのではなく、それぞれが考えることを重視しています。教員の考えをまとめて新書として出版していますので、参考にしてください。『多文化共生をどう捉えるか(下野新聞新書)』
5	外国人労働者の人権に興味があるのですが今回の国際学部ウィークで取り上げていただく機会や、実際に大学での授業はありますか？	2日目、5日目に関係の話題があります。外国人に関わるテーマを取り上げている複数の授業が開講されていますので、シラバスを参照してください。 <a href="https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/syllabus.php">https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/syllabus.php</a>
6	SDGsは文系の学びとなかなか結びつきにくいですが、例えば文学とSDGsはどのように結びつくと考えますか？	SDGsの17の目標は、そのどれをとっても、文理に関わらず、特定の研究分野だけで解決できるものではありません。文学を含む人文社会科学は、100を超えるSDGsのさまざまな下位目標と関係しているだけでなく、SDGsという考え方そのものの重要性を理解し、それを広める教育的役割などを果たしています。国連でも、文学フェスティバルとの連携を進めています。 <a href="https://www.sdgforall.net/index.php/languages/japanese/1277-1276-un-avails-of-famed-literature-festival-to-achieve-global-goals">https://www.sdgforall.net/index.php/languages/japanese/1277-1276-un-avails-of-famed-literature-festival-to-achieve-global-goals</a>
7	韓国語の学習を主にしたいのですが、レベル差などが出ると思いますが個別対応などもありますか？	まずは基礎から授業を行います。一般的に、よりレベルの高い受講者がいた場合などは、状況に応じて個別に対応します。
8	就職先一覧に、外務省とありましたが、貴学では国家試験対策等をしているのでしょうか。	直接の対策はありませんので、必要な授業を受講し、試験対策を進められるように、個別の相談に対応しています。
9	音声がかえなくて内容が把握できないので本日の動画をホームページに載せていただくのは可能でしょうか？	ホームページへの動画公開は予定していませんが、本日の説明者についてはバーチャルオープンキャンパスの学科紹介動画に参加しており、そちらの動画と本日の説明内容が重なっておりますので、そちらをご確認下さい。 ・学科紹介動画掲載ページリンク <a href="https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/virtual/gakubu02.html">https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/virtual/gakubu02.html</a>
10	面接についての質問なんですけれども、マイクつきのイヤホンを用いたほうがいいですか？	一概には言えません。用いることでうまくできるのであれば使用いただき、用いなくてうまくできるのであれば使用しなくてもよいと思います。

### 2日目「国際学部における多様性と多文化共生」

1	HANSプロジェクトについて質問があります。寺子屋の活動は主にブラジル人の児童向けの学童的な役割になっているんですか？	(参加した学生Aさんからの回答)児童向けの学童的な役割です。活動は国籍に関係なく支援が必要な方を対象としています。
2	推薦入試の対策として英字新聞を読んだ方がいいですか？	英語で情報を集めながら学習することは、様々な意味でその後の学びに生きていくと思います。
3	日本語教育プログラムについてお話しいただける機会はこの5日間にございますか	残念ながら学内の事情により、日本語教育プログラムは令和3年度より廃止されます。
4	現在のコロナ禍でも行っている他文化と関わることでできる行事が他にもありましたら、教えていただきたいです。	交換留学については、海外への渡航ができないため、交換留学先の大学の授業をオンラインで受講する「オンライン留学」が一部で実施されています。授業に関しては、タイのタマサート大学と合同でオンライン授業の開催、米国など海外で教えている大学教員の方とオンラインでつないで、ゲストスピーカー講演を、いずれも英語で実施しています。また、マレーシアのサラワク大学と共同で1週間のオンライン研修を開催します。マレーシアの学生との交流も予定しています。

5	本日公開された推薦入試のトピックに対する面接時間は何分くらいですか？	個人面接は全体で10分程度で、自己推薦書等に関連した自己アピールと、事前に公表したトピックに関する意見を、それぞれ1分で述べてもらい、質疑応答を行います。
6	新聞は主にどの記事を中心に読むべきですか？見出しや社説など..	一概には言えませんが、社説を読み、自分でもその内容について批判的に考えたり、書いたりしてみたいかがでしょう。

### 3日目 「国際と学際:オンラインでの国際交流」

1	国際協力に興味があります。現地での演習は主にどのような国を訪問していますか。	スリランカ、ルワンダなどでの調査研究を行う実習を実施してきました。また、外国語臨地演習では、オーストラリア、マレーシア、カナダ、スペインを訪問して実施してきました。
2	ICSでのキャリア形成とは、簡単に言うとどんなことをするんですか？	国際ビジネス、国際協力等第一線で活躍している方々を講師としてお呼びし、各分野の実際を学びながら、大学でどんな経験や勉強をすればよいのかをワークショップ形式で学びます。ICSは全編英語での講義となります。詳しくはホームページをご覧ください。http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/
3	改めて貴校の学際とはなんですか？	国際学部における学際性の特徴は、人文社会科学の諸分野を中心とした多くの研究分野の研究者が集まり、多文化共生に関わる教育研究に取り組んでいることにあります。
4	中学校の英語教員を目指しています。また、大学在学中に留学をしたいと考えています。4年間で教員免許を取得し卒業するためには、「1年間の留学」は無理でしょうか。1年間留学したい場合、休学する以外の方法はないでしょうか。	教員免許取得に必要な単位取得などが、通常の卒業単位に加わるため、1年間留学して4年間で卒業することは難しいです。なお、交流協定を結んでいる大学への留学期間中は在学扱いとなるので、教員免許取得を考えない場合は、1年間の交流協定校への留学を含めた4年間での卒業も可能です。
5	日本語教育について質問があります。日本語教育を行う際にはどのような能力が必要なのでしょう？	まずは、日本語とはどんな特徴を持った言語か徹底的に知る必要があります。そして、どんなふうに通じるコミュニケーションしているかに敏感になるべきでしょう。そして、どうしたら日本語の表現を使いたくしてもらえるかを考えて一緒に付き合ってみる、そんなことが必要になると思います。
6	外国語臨時演習と別に留学はできますか？	外国語臨地演習と交換留学をどちらも参加する人はいます
7	外国人労働者やその方々の子供たちへの支援について興味があるのですが、在学中にもそのような活動に携わることはできますか？	外国人労働者や子供たちへのサポートが、授業やサークルの活動として、高校進学の情報提供や学習支援などと取り組んでいるひとがいます。
8	留学や外国語臨地演習は参加人数に制限があったり選抜テストみたいなものがあるのでしょうか？	いずれも定員があり、留学や外国語臨地演習は希望者が競争するときがあります。そのときは、成績やどの授業を取ったか、などが考慮されて選ばれます。第2希望のところへ行く可能性もあると思います。
9	UU-TEAプロジェクトの様なプロジェクトを自分で作ることはできるのですか？	UU-TEAは学生と教員と一緒に作り上げているプロジェクトで、学生の意見を取り入れながら、プロジェクトを進めています。このような国際関連の取り組みは他にもありますが、学生サークルにも国際協力を行っているサークルが数団体あります。
10	handsプロジェクトには日本語と英語少ししかできなくても参加できますか？	参加できます。日本語、英語以外の言語ができることが大いに役に立ちます。
11	英語以外の外国語の学びを深めるために非英語圏への留学は可能でしょうか？	可能です。非英語圏の交換留学先はたくさんあります。中国語、韓国語、タイ語、フランス語、スペイン語などの国々は交換留学できます
12	今日話して下さった学生の方に質問です。将来はどのような職業、就職先を考えていますか？	学生Bさん： 私は通訳になりたいと漠然と思っていたのですが家庭教師のアルバイトを通して塾講師になりたいと考えています。大学の学びが直接職業に関連しなくても良いですし、専門学校でない限りは関連しないことも多いので自分が何をやりたいか大学生活を通して考えていってはいかがでしょうか。 学生Cさん： 私は将来は漠然と国際協力をしたいと考えております。チームでプロジェクトを立案し、実施できるような職に就きたいです。
13	英語や第二言語のほかに、第3外国語まで習得する学生さんはどれくらいいらっしゃるのでしょうか。	少しでも3つ目の外国語を履修したことのある学生数は、40%近くになります。現在の在籍生452名中、172名で、多くの学生が外国語の学習に関心を持っています。

### 4日目 「外国語の学習と留学」

1	留学先等によっても異なるかと思いますが、「英語圏への交換留学」の場合、学内選考の倍率はどれくらいでしょうか。また、協定校による最終選考を突破するためにはどのくらいの英語力が必要でしょうか。	英語で学習できる留学先もさまざまですが、イギリスやアメリカ、オーストラリアなどは数倍の場合もあると思います。英語力だけではなく、成績全体も選考の基準になります。英語力そのものはいくら高くても十分ということはありませんので、しっかり学んでください。
---	--	---

2	オンライン授業に不安があります。国際学部は、どこからでも世界中の人達とコミュニケーションを取れるなど、他の学部よりメリットが沢山あると思いますが、宇都宮大の国際学部のオンライン授業で感じた、メリットやデメリットを教えてください。よろしくお願いいたします。	学生Dさん： 現在4年生のため研究しか授業がありません。参考にはならないとは思いますが、4年生としては、オンラインは研究し易いと思います。私の場合、「実験」はありませんので、毎週自分で研究したものを授業で発表しています。 在学生Eさん： オンライン授業について、今までよりパソコンを使うスキルが身についたなと感じております。就活もオンラインになっていますので、役に立っています。 補足：世界の大学や研究者とのネットワークで、授業や講演が行われています。
3	外国語臨地演習と留学の二つに参加することは可能でしょうか。	どちらかを選ぶ必要はありません。どちらも参加可能です。 学生Fさん： 私は1年間の留学以外にもスリランカへのインターンシップに参加しました。期間が重ならなければたくさん経験できます。
4	大野先生に質問です。文学や文化についての学びはなかなかSDGs等に結びつきにくいですが、国際問題との関係についてどうお考えですか？	文学や文化は、大きな社会的事象に取り組む際には直接役立つものには思われますが、地域や時代ごとに、そこを生きる人々の内部から世界を見るための方法を提供してくれます。また、社会通念などがどのように作られたのかを分析することもでき、文系学問を学ぶ上での基礎的な役割を果たしています。
5	国際支援に興味があるのですが、その場合特にどの言語を習得すれば研究が深まるでしょうか。	地域にもよりますが、英語は必然ですのでスキルを磨いて損は無いと思います。またアフリカの場合はフランス語、東南アジアはその国の言語がわかればより現地の人とコミュニケーションをとれますね。自分の興味がある国について調べてみてくださいね！
6	フランスへの留学は3年の夏頃からとありましたが、語学研修は学年的にはいつ頃から参加可能なのでしょうか？	語学研修は全学年全学科が対象ですので、1年生での参加も可能です
7	留学はオンラインで行くことが可能ですが、直接行ったことでどのようなメリットがあると感じましたか？	ホームステイをして家族の人たちと直接かかわったり、現地の人たちとの交流ができたことです。
8	中国語圏への交換留学を希望しているのですが、その際4年間で卒業は可能でしょうか？	交換留学のタイミングや期間によりますが、4年間で卒業は可能です。
9	1年間の留学の機会を頂いた場合、単位はどのようになるのでしょうか。	交換留学の場合は、基本的に留学先での取得単位が認められます。また、私費留学の場合は、審査により、認められる場合があります。
10	英語以外の外国語の学習について教えてください。	国際学部では、フランス語、中国語、朝鮮語、スペイン語の4言語を初習外国語と呼んでいます。すべての学生は、これらの初習外国語の中から原則として1言語を選択し、基盤教育において基礎から学び始め、専門教育での学習へと進みます。さらに外国語教育強化プログラムを選択した学生は、より多くの関係科目を学び、さらに海外への留学やインターンシップ等を通じ、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」の4技能を実用的なレベルにまで向上させることを目指します。また、この4言語のほか、ドイツ語、ロシア語、タイ語、ポルトガル語の授業を準備し、自らのキャリア形成に沿って、さらに言語を学びたいと考えている学生に機会を提供しています。
11	ドイツへ留学する際も、ドイツ語検定等が条件に課されるのでしょうか。また、ドイツ留学も三年生の夏からでしょうか。	大学により異なります。申請時にご自身でFact sheetや協定校のHPIにて確認いただいています。学年の指定はありません。
12	高校時代に留学を行い、宇大で再度留学するような人は多いのでしょうか？	たくさんいると思います
13	外国語臨地演習は何人ぐらいで行くのでしょうか。	留学先、年によりますが、英語圏への臨地演習の場合は、20人～30人程度です。ただし、定員はあるので希望が多ければ選考があります。
14	留学、海外研修先は自分が選択した第二外国語が使われている国に限られているのでしょうか？	留学協定校が留学生の語学力に水準を設定していないのであれば、選択した言語の地域でなくても選考をクリアすれば行くことはできます。

#### 5日目「国際学部とSDGs:SDGsをめぐる学生の取り組み」

1	HANDSプロジェクトについてなのですが、特定のゼミに参加していないとHANDSプロジェクトに参加出来ないなどありますか？	特にありません。誰でも参加できます。
2	高橋先生が研究してる環境問題などを栃木県や宇大生徒という小さな範囲で議論するのはですか？また、海外で行ったり異国のの人たちと交流を深めたりすることはないのでしょうか？(留学制度以外で)	ご質問ありがとうございます。研究活動が学際的・国際的な共同研究で、国内外でのフィールドスタディや交流も行っています。今年はできませんでしたが、海外視察(スウェーデン、中国など)には、希望するゼミ生を随行したことも何度かあります。また、北関東国立大学との合同ゼミも毎年行っており、NPOとの協働もあり、フィールドワークを実施するゼミだと思っています。
3	国際学部ウィークの見れなかった回は、後日ホームページ等で見ることは出来ますでしょうか？また見れるとしたらいつ頃になりますか？	オンライン国際学部ウィークは、後日公開する予定はありません。今回の説明会は、録画を公表する前提では準備していませんでしたので、このような対応になりました。具体的な質問や、取り上げるとよいテーマなどは、この後お知らせするアンケートに回答してください。よろしくお願いいたします。

4	インターン先はUNHCR等の機関を自分で選択できるのですか？	インターンに関するご質問ありがとうございます。インターン先は自分で興味のある機関を選んで応募することができます！
5	留学とインターンシップの両方を希望する場合、4年間での卒業は可能でしょうか。	留学とインターンシップそれぞれの期間とタイミングによります。それぞれ短期であれば、卒業は可能です。
6	5年間、環境活動に力を入れて取り組んできました。高校ではこの後、これまでの集大成として「環境問題とSDGs」をテーマに課題研究にチャレンジしてみようと考えています。そして大学での研究に繋げていく考えです。まとめ方の参考にさせていただきたいため、どんな小さなことでも構いませんので何かアドバイスをよろしくお願い致します。	宇都宮大学のHPには、SDGsに関わる国際学部の研究教育活動も紹介されています。参考にしてください。 <a href="https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/SDGs_casestudies.php">https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/SDGs_casestudies.php</a>
7	ジェンダー論については基礎的なことから学べるのでしょうか？	オムニバス形式での授業で、複数の教員がそれぞれの専門を生かして実施しています。基礎的な導入から始まります。
8	参加された2名の学生の方は将来どのような職に就きたいと考えていらっしゃるでしょうか？今後の目標でも大丈夫です。	学生Gさん：SDGs映画上映会を通じて地域や個人で行うことができる環境に対する取り組みがたくさんあることを学びました。将来は、仕事を通じて人々の生活と環境対策が強く関係していることを伝えられるような職に就きたいと考えています。 学生Hさん：廃棄物処理管理に関わる企業や職に就きたいと思っています。また様々な環境問題を多くの人に発信していくことが今後の目標です。
9	インターンができる審査はどのようなものなのでしょうか？また、インターン先にはほかにはどのような所がありますか？人気のインターン先などを教えていただけると幸いです。	国際キャリア実習プログラムでは書類と面接を行います。派遣先によっては英語等語学が必要な場合もあります。派遣先としては、途上国のNGOやODA事業などが多く、ベトナム、ラオス、カンボジア、スリランカ、エチオピアなどに派遣しています(毎年派遣先は違います)。詳しくは下記ホームページをご覧ください。 <a href="http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/activity/index.html">http://www.kokusai.utsunomiya-u.ac.jp/career-program/activity/index.html</a>
10	難民問題やUIPJ,国際貢献に興味があるのですが、ゼミは二つに入れないと思うのですが、ゼミで、国際貢献を学びUIPJで司法などの面から難民問題を学べますか？	担当教員によって変わりますが、学ぶことができるゼミもあります。